

一般社団法人 日本精神保健福祉学会 2024 年度 定時社員総会

議案書

日時：2024 年 6 月 29 日（土）
15 時 40 分～16 時 30 分

会場：福島学院大学 宮代キャンパス
（福島県福島市宮代乳児池 1-1）

方法：対面

※オンラインでの配信をしません。

一般社団法人日本精神保健福祉学会

* 総会に参加される方は、この議案書を必ずご持参ください。

**総会を欠席される方は、委任状の提出もしくは書面評決を必ず行
ってください。

一般社団法人 日本精神保健福祉学会
2024 年度 定時社員総会 次第

1. 開会
2. 定足数確認
3. 会長挨拶
4. 議事録署名人選任
5. 議事
 - 1) 審議事項
 - 第 1 号議案：2021 年度事業報告・決算（案）について
 - 第 2 号議案：2022 年度事業計画・予算（案）について
 - 第 3 号議案：定款変更（案）について
 - 第 4 号議案：理事・監事の選出について
 - 第 5 号議案：名誉会員の選出について
 - 2) 報告事項
 - その他
6. 閉会

第1号議案

2023年度 事業報告・決算（案） について

※2023年度決算（案）は、後日学会ホームページに掲載するとともに、当日資料を配布します。

2023 年度 一般社団法人日本精神保健福祉学会事業報告（案）

（2023 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

2023 年度は、当学会創設 12 年目を迎え、学術団体としての社会的な認知を一層広めるとともに、一般社団法人としての機能のさらなる強化を図る。具体的な取り組みとしては、学術研究集会の開催に係る実行委員会の役割と権限の強化をさらに進めるとともに、学会機関誌の内容の充実、学術団体の連合組織への加盟、研究活動の推進、学会賞（学術賞、学術奨励賞）の選考などを引き続き実施する。また、全国的な学術研究団体としての事業を着実に展開するため、事務局機能の体制整備をさらに進める。

1. 学術研究集会関係

第 11 回学術研究集会を 2023 年 6 月 24 日（土曜）から 25 日（日曜）にかけて早稲田大学国際会議場にて、対面形式で開催した。学術集会参加者は 125 名であった。1 日目の基調講演およびシンポジウムについてはは社会福祉系の大学等に所属している学生に対しては、無料で開放した。翌日の分科会では、18 演題が発表され、活発な議論が交わされた。また、午後のワークショップでは、学生から指導する立場の方まで幅広い年代層の方が参加し、研究や教育における人材育成も当学会の大きな役割であることを痛感した学術集会であった。

《スケジュール・プログラム内容》

1 日目：6 月 24 日（土曜） 12:50～

13:00 開会式

13:00～14:00 基調講演 講師：鹿島晴雄氏（慶応大学医学部客員教授）

14:10～16:10 シンポジウム「精神保健福祉学の学問的体系化を目指して」

シンポジスト：石川到覚氏（大正大学名誉教授）

荒田寛（龍谷大学名誉教授）

白石正巳（東洋大学名誉教授）

コーディネーター：田中英樹（早稲田大学 名誉教授 東京通信大学教授）

16:20～17:10 学会総会

17:10～18:18：10 学会奨励賞授賞式 奨励研究発表

18:30～20:20：30 情報交換会

2 日目：6 月 25 日（日曜）

9:30～12:00 分科会（自由研究発表）

13:00～16:00 「今後の精神保健福祉学を担う人材育成に関するワークショップ」

話題提供 坂本智代枝氏（大正大学）

大岡由佳氏（武庫川女子大学）

平澤恵美氏（明治学院大学）

岡田隆志氏（福井県立大学）

コーディネーター 青木聖久（日本福祉大学）岩崎香（早稲田大学）

16:00～16:20 閉会式（16 時 30 分終了予定）

<参加者>

会員 57 名 非会員 29 名 大学院生他 39 名 合計 125 名

懇親会参加者 42 名

次に 2024 年度の学術研究集会については、北本明日香会員（福島学院大学）の協力のもと、第 12 回学術研究集会を、2024 年 6 月 29 日（土）30 日（日）に、福島学院大学で開催することに決めた。このことに伴い、2022 年度に田中会長、岩崎事務局長が挨拶訪問に訪れたことに続き、2024 年 3 月には、学術研究集会担当の青木理事、事務局担当の鈴木理事が福島学院大学に赴き、学長に挨拶をすると共に、開催場所の確認をしている。

2. 機関誌関係

（1）学会機関誌『精神保健福祉学』（通巻 11 号）の発行

ここ数年の学会誌と学術集会との連動性を踏まえ、学会誌の発行時期を年度末（3 月）に設定した。通巻 11 号は予定通り 2024 年 3 月に発行できた。

（2）投稿規程及び執筆要領の改訂

近年のデジタルツールの活用に対応して、学会誌の「投稿規程」及び「執筆要領」の一部を改訂した。

（3）投稿論文の査読体制の適切な運用

投稿論文数の増加に対応できるよう理事の査読委員への就任を依頼し、査読体制の充実強化を行った。

（4）学術研究集会担当理事との連携強化

学術研究集会担当理事との連携により、大会報告に関する原稿の論文化及び校正作業を順調に進めることができた。

（5）学術研究集会での自由研究発表者に対する投稿の勧奨

研究担当理事と連携し、学術奨励賞候補者に機関誌への投稿を促し、通巻 11 号では学術奨励賞受賞論文 1 本と学術奨励賞候補論文 2 本を掲載することができた。

（6）書籍刊行情報の収集と書評への取組み

通巻 11 号では会員の著書などの業績紹介として 3 件の書評を掲載することができた。

3. 研究関係

2018 年度、会員の研究活動を支援することを目的に、学会賞（学術賞、学術奨励賞）を創設した。学術奨励賞については、第 11 回全国学術研究集会（2023 年 6 月 24 日～25 日、東京大会の自由研究発表の中から、受賞者（1 名）が決定した。学術賞については、2022 年 1 月～2022 年 12 月に公刊された研究業績を対象に推薦依頼を行った。そこで、提出された推薦書と研究業績を精査して審査を行い、受賞者（1 名）が決定し学会誌にて公表した。

○学術奨励賞受賞者と奨励研究題

佐々木理恵会員（東京大学 医学系研究科 医学のダイバーシティ教育研究センター）原著論文

「精神保健医療福祉領域で働くピアサポートワーカーが役割を生成するプロセス」

○学術賞受賞者と対象業績

駒澤真由美会員 立命館大学大学院先端総合学術研究科
単著

「精神障害を生きる 就労を通して見た当事者の『生の実践』」生活書院)2022

4. 渉外関係

関係諸団体への参加は、引き続きソーシャルケアサービス研究協議会などに参加して渉外活動を行って本学会への理解を促すとともに、第 11 回学術研究集会（東京大会）開催に伴い本学会の会員拡大の活動を行い一定の会員拡大の成果があった。

5. 広報関係

2023 年度は、学会ホームページをリニューアルして資料等が見やすくなるようにした。また、記事の掲載及び更新を迅速に行った。Facebook や Twitter を活用し、学会の社会的な認知度を高め、学会員の増加に寄与できるように工夫した。

広報担当の活動については、総務担当理事を加え体制を強化した。

6. 総務関係

2023 年度については、事務局体制の強化を図り、事務局業務を円滑かつ効率的に運営できるよう取組んだ。また、会員名簿の整理を行い更新した。

理事会に開催については、新型コロナウイルスが 5 類に移行したが、理事会開催については引き続きリモート開催とした。理事会を計 5 回開催（1 回メール審議含む）した。

決 算 報 告 書

自 令 和 5 年 4 月 1 日

至 令 和 6 年 3 月 3 1 日

一般社団法人 日本精神保健福祉学会

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

財務諸表に対する注記

- I この財務諸表は、平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会制定の「公益法人会計基準」に準拠して作成している。
- II 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - 1. 消費税等の会計処理
免税事業者のため消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

一般社団法人日本精神保健福祉学会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	2,145,000	2,315,000	△ 170,000
受取会費	2,145,000	2,315,000	△ 170,000
事業収益	0	1,271,020	△ 1,271,020
総会・学会収入	0	471,020	△ 471,020
受取補助金等	0	800,000	△ 800,000
受取寄付金	556,000	0	556,000
受取寄付金	556,000	0	556,000
雑収益	2	3	△ 1
受取利息	2	3	△ 1
経常収益計	2,701,002	3,586,023	△ 885,021
(2) 経常費用			
事業費	1,884,041	2,313,738	△ 429,697
給与	0	337,861	△ 337,861
印刷製本費	518,760	638,000	△ 119,240
支払手数料	1,980	16,705	△ 14,725
務消耗品費	26,034	0	26,034
借料	55,176	16,500	38,676
通信運搬費	80,876	0	80,876
諸謝金	0	27,388	△ 27,388
旅費交通費	79,570	128,657	△ 49,087
支払補助金	0	0	0
支払負担金	1,100,000	571,020	528,980
図書費	0	203,561	△ 203,561
委託費	13,200	374,046	△ 360,846
雑費	8,445	0	8,445
管理費計	1,013,880	954,312	59,568
印刷製本費	840	1,870	△ 1,030
支払手数料	9,790	4,575	5,215
事務消耗品費	0	17,600	△ 17,600
賃借料	62,150	69,080	△ 6,930
通信運搬費	10,360	32,026	△ 21,666
諸謝金	0	0	0
旅費交通費	4,640	82,349	△ 77,709

科 目	当年度	前年度	増減
支払助成金	0	0	0
支払負担金	0	0	0
委託費	926,100	745,900	180,200
租税公課	0	912	△ 912
経常費用計	2,897,921	3,268,050	△ 370,129
評価損益等調整前当期経常	△ 196,919	317,973	△ 514,892
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 196,919	317,973	△ 514,892
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 196,919	317,973	△ 514,892
法人税住民税及び事業税	70,000	62,500	7,500
税引後当期一般正味財産増減額	△ 266,919	255,473	△ 522,392
他会計振替額			0
当期一般正味財産増減額	△ 266,919	255,473	△ 522,392
一般正味財産期首残高	2,848,181	2,592,708	255,473
一般正味財産期末残高	2,581,262	2,848,181	△ 266,919
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,581,262	2,848,181	△ 266,919

正味財産増減計算書内訳書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

一般社団法人日本精神保健福祉学会

(単位:円)

科 目	実施事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	研究等事業	学術集会・ 学会誌等事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費	0	0	2,145,000	0	2,145,000
受取会費	0	0	2,145,000	0	2,145,000
事業収益	0	1,884,041	252,351	2,136,392	0
総会・学会収入	0	1,884,041	252,351	2,136,392	0
受取補助金等	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	556,000	0	556,000
受取寄付金	0	0	556,000	0	556,000
雑収益	0	0	2	0	2
受取利息	0	0	2	0	2
経常収益計	0	1,884,041	2,953,353	2,136,392	2,701,002
(2) 経常費用					
事業費計	252,351	1,884,041	0	252,351	1,884,041
給与	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	518,760	0	0	518,760
支払手数料事	0	1,980	0	0	1,980
務消耗品費賃	0	26,034	0	0	26,034
借料	0	55,176	0	0	55,176
通信運搬費	0	80,876	0	0	80,876
諸謝金	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	79,570	0	0	79,570
会議費	0	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	0	0
支払負担金	252,351	1,100,000	0	252,351	1,100,000
図書費	0	0	0	0	0
委託費	0	13,200	0	0	13,200
雑費	0	8,445	0	0	8,445
管理費計	0	0	2,897,921	1,884,041	1,013,880
印刷製本費	0	0	840	0	840
支払手数料事	0	0	9,790	0	9,790
務消耗品費賃	0	0	0	0	0
借料	0	0	62,150	0	62,150
通信運搬費	0	0	10,360	0	10,360
諸謝金	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	4,640	0	4,640
会議費	0	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	1,884,041	1,884,041	0
委託費	0	0	926,100	0	926,100
租税公課	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0
経常費用計	252,351	1,884,041	2,897,921	2,136,392	2,897,921

科 目	実施事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	研究等事業	学術集会・ 学会誌等事業			
評価損益等調整前当期経常	△ 252,351	0	55,432	0	△ 196,919
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 252,351	0	55,432	0	△ 196,919
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 252,351	0	55,432	0	△ 196,919
法人税住民税及び事業税	0	0	70,000	0	70,000
税引後当期一般正味財産増減額	△ 252,351	0	△ 14,568	0	△ 266,919
他会計振替額					0
当期一般正味財産増減額	△ 252,351	0	△ 14,568	0	△ 266,919
一般正味財産期首残高	252,351	△ 8,749,185	11,345,015	0	2,848,181
一般正味財産期末残高	0	△ 8,749,185	11,330,447	0	2,581,262
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	△ 8,749,185	11,330,447	0	2,581,262

貸借対照表
令和6年3月31日

一般社団法人日本精神保健福祉学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,581,262	2,848,181	△ 266,919
流動資産合計	2,581,262	2,848,181	△ 266,919
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	2,581,262	2,848,181	△ 266,919
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	2,581,262	2,848,181	△ 266,919
正味財産合計	2,581,262	2,848,181	△ 266,919
負債及び正味財産合計	2,581,262	2,848,181	△ 266,919

貸借対照表内訳書
令和6年3月31日

一般社団法人日本精神保健福祉学会

(単位:円)

科 目	実施事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	研究等事業	学術集会・ 学会誌等事業			
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	0	0	2,581,262	0	2,581,262
流動資産合計	0	0	2,581,262	0	2,581,262
2. 固定資産					
(1)基本財産					
基本財産合計	0	0	0	0	0
(2)特定資産					
特定資産合計	0	0	0	0	0
(3)その他固定資産					
他会計長期貸付金	0	0	10,633,226	10,633,226	0
その他固定資産合計	0	0	10,633,226	10,633,226	0
固定資産合計	0	0	10,633,226	10,633,226	0
資産合計	0	0	13,214,488	10,633,226	2,581,262
II 負債の部					
1. 流動負債					0
流動負債合計	0	0	0	0	0
2. 固定負債					
他会計長期借入金	0	10,633,226	0	10,633,226	0
固定負債合計	0	10,633,226	0	10,633,226	0
負債合計	0	10,633,226	0	10,633,226	0
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	0	0	0	0	0
2. 一般正味財産	0	△ 10,633,226	13,214,488	0	2,581,262
正味財産合計	0	△ 10,633,226	13,214,488	0	2,581,262
負債及び正味財産合計	0	0	13,214,488	10,633,226	2,581,262

財 産 目 録
令和6年3月31日

一般社団法人日本精神保健福祉学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	58,794
	預金	普通預金	運転資金として	2,522,468
		高知銀行西支店	一般会計	182,400
		ゆうちょ銀行一六九支店	一般会計	2,162,423
		ゆうちょ銀行六四八支店	一般会計	177,645
流動資産合計				2,581,262
資産合計				2,581,262
正味財産				2,581,262

2023年度 決算報告（案）および 会計・事業監査報告について

※2023 年度決算報告（案）および会計・事業監査報告については、
後日学会ホームページに掲載するとともに、総会当日配布します。

第2号議案

2024年度 事業計画・予算（案） について

※2024年度予算（案）は、後日学会ホームページに掲載するとともに、当日資料を配布します。

2024 年度 一般社団法人日本精神保健福祉学会事業計画（案）

（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

2024 年度は、当学会創設 13 年目を迎え、学術団体としての社会的な認知を一層広めるとともに、一般社団法人としての機能のさらなる強化を図る。具体的な取り組みとしては、学術研究集会の開催に係る実行委員会の役割と権限の強化をさらに進めるとともに、学会機関誌の内容の充実、学術団体の連合組織への加盟、研究活動の推進、学会賞（学術賞、学術奨励賞）の選考などを引き続き実施する。また、全国的な学術研究団体としての事業を着実に展開するため、事務局機能の体制整備をさらに進める。

1. 学術研究集会関係

第 12 回学術研究集会を 6 月 29 日（土）30 日（日）に福島学院大学にて対面にて開催する。また、6 月 28 日（金）は、プレ企画として、エクスカッション（福島学院大学主催で、福島第一原子力発電所や震災原子力災害伝承館等の視察）を実施する。スケジュール、内容は以下の通りである。

《学術研究集会プログラム》

1 日目：6 月 29 日 会場：福島学院大学 宮代キャンパス）

10：00～11：30 大会実行委員会企画ワークショップ

「福島の子どもに対するソーシャルワーク

～アセスメント力向上を目指した事例検討～」

話題提供者

・本田智春（ふくしま子どものケアセンター）

・川島慶子（ふくしま子どものケアセンター）

コーディネーター

・安部郁子（ふくしま子どものケアセンター 副所長）

12：50～13：00 開会式

13：00～14：00 記念講演「震災の後の方がつらかった」

・講師：蟻塚亮二（医療法人社団 メンタルクリニックなごみ 院長）

14：10～15：40 シンポジウム

「被災地からの学び 経験知を踏まえた復興の歩み」

シンポジスト

・菅野直樹（福島赤十字病院 地域医療連携課）

・熊田貴史（医療生協わたり病院 地域連携室）

・須藤康宏（相馬地方基幹相談支援センター拓）

コーディネーター：青木聖久（日本福祉大学）

15：40～16：30 一般社団法人日本精神保健福祉学会総会（学会員のみ）

16：30～17：30 学会奨励賞授賞式、奨励研究発表

2 日目：6 月 30 日（会場：福島学院大学 福島駅前キャンパス）

09：00～09：30 受付

09：30～12：00 分科会（自由研究発表）

12：00～12：10 閉会式

そして、第 13 回学術研究集会が、2025 年 6 月 29 日（土）30 日（日）に、九州産

業大学で開催されることから、2024年8月を目途に実行委員会を組織化し、12月ごろにプログラムの確定を目指すこととする。

2. 機関誌関係

(1) 学会機関誌『精神保健福祉学』（通巻12号）の発行

2023年度同様に通巻12号の発行時期を年度末（3月）に設定し、引き続き、学術集会における講演等及び研究発表の論文化とその掲載を進める。

(2) 投稿論文の査読体制の適切な運用

2023年度に強化した査読委員体制（2023年12月～2025年11月）において査読委員22名の協力のもとより速やかな査読を行う。引き続き教育的な査読を依頼し、必要な場合には正副委員長のコメントを追記し、再投稿を支援する。

(3) 編集委員会と学術研究集会担当理事との連携強化

編集委員会と学術研究集会担当理事との十分な連携を継続し、大会報告に関する原稿の速やかな論文化と校正作業を進める。

(4) 自由研究発表者に対する投稿の勧奨

研究担当理事、学術研究集会担当理事と連携し、学術奨励賞候補者に機関誌への投稿の勧奨を継続する。

(5) 書籍刊行情報の収集と書評への取組み

会員・非会員を問わず、当学会に関連する業績について紹介する書評欄を充実させる。

3. 研究関係

2023年度の学術賞及び学術奨励賞授賞式及び奨励研究発表は、第12回全国学術研究集会（福島大会：対面開催）時に実施する予定である。2024年度学術奨励賞は、自由研究発表の中から候補者を選考し、分科会座長を含む審査委員会を設置して、受賞者を決定する予定である。学術賞は2023年1月～2023年12月に公刊された研究業績を対象に2024年6月末までに推薦依頼を行い、提出された推薦書をもとに研究業績を精査して、審査委員会を設置して審査する予定である。

4. 渉外関係

本学会の渉外活動として、ソーシャルケアサービス研究協議会などに参加して本学会への理解と協力を促していくための渉外活動を行うとともに、2024年6月に福島市で行われる第12回全国学術研究集会の開催を契機にした本学会の会員拡大の活動に取り組む。

5. 広報関係

2024年度も継続して、学会ホームページの継続的な運営を行い学会の広報を行う。

また、FacebookやTwitterの活用も継続する。

なお、広報活動については、総務担当理事1人を加え、広報活動の充実を図ることとなった。

また、それぞれの担当との連携のもと会員に新しい情報を提供できるように取り組む。

従来、広報活動の一環として、精神保健福祉に関する用語について日本精神科医学

会学術大会でポスター発表を行ってきた。しかし、現在『レキシコン精神保健福祉学』の編集中であり発表を行うことができないため、2024年7月25日（木）～26（金）に仙台国際センターにおいて開催される第13回日本精神科医学会学術大会（公益社団法人日本精神科病院会が開催）での本学会に関する発表は行わない。

6. 総務関係

2024年度については、引き続き事務局体制を強化し、業務を円滑に行うよう取組む。理事会の開催については、旅費等のかかる費用の抑制を図り、財政基盤を安定化させる観点から、引き続きリモート開催を基本とする。

第3号議案

定款改正（案）について

定款改正（案） 第 12 条の改正について

《提議の理由》

当法人定款第 2 条第 2 項の記載により、理事のうち 2 名以内を副会長とすることが規定されている。他方、当学会の運営環境は、新規入会数の伸び悩み、退会数の微増、事務局体制の不安定さ、学会機関誌への論文投稿数の停滞など、厳しい状況が続いている。

よって、当学会の運営基盤を強化し、学術団体としての事業を活発化させ、持続的に社会へ貢献する団体として成長するために、会長を補佐し職務を執行する副会長の下、各理事の役割の明確化と職務のさらなる推進を図ることを目的として、次のとおり同条項の変更を提案するものである。

《提案の内容》

（役員の種類）

第 12 条 当法人には次の役員を置く。

1. 理事 10 名以上 20 名以内
2. 監事 2 名以内
- 2 理事のうち、1 名を会長とし、**3 名以内を副会長**とする。

定款変更の案

改正前	改正後
<p>（役員の種類）</p> <p>第 12 条 当法人には次の役員を置く。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 理事 10 名以上 20 名以内2. 監事 2 名以内2 理事のうち、1 名を会長とし、2 名以内を副会長とする。	<p>（役員の種類）</p> <p>第 12 条 当法人には次の役員を置く。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 理事 10 名以上 20 名以内2. 監事 2 名以内2 理事のうち、1 名を会長とし、3 名以内を副会長とする。

第 4 号議案

理事・監事の選出について

一般社団法人 日本精神保健福祉学会 役員

【理事・監事の任期：2024 年度総会～2026 年度総会まで】

No	氏名	所属	役職	
			役職	役割
1	中村 和彦	北星学園大学	会長	
2	青木 聖久	日本福祉大学	副会長	
3	金子 努	県立広島大学	副会長	
4	坂本智代枝	大正大学	副会長	
5	岩崎 香	早稲田大学	理事	事務局長
6	石田 賢哉	山口県立大学	理事	
7	岩本 操	武蔵野大学	理事	
8	大岡 由佳	武庫川女子大学	理事	
9	大塚 俊弘	長崎県精神医療センター	理事	
10	岡田 隆志	福井県立大学	理事	
11	北本明日香	福島学院大学	理事	
12	鈴木 孝典	大正大学	理事	
13	長崎 和則	川崎医療福祉大学	理事	
14	橋本みきえ	九州産業大学	理事	
15	半澤 節子	自治医科大学	理事	
16	平澤 恵美	明治学院大学	理事	
17	松浦 智和	日本医療大学	理事	
1	伊東 秀幸	田園調布学園大学	監事	
2	田中 英樹	日本医療大学	監事	
役員数			理事 17、監事 2 人	

第 5 号議案

名誉会員の選出について

名誉会員の選出について

《提議の理由》

当法人定款第5条第2項では、「当法人および精神保健福祉学の発展に特に貢献のあった正会員で、理事会において推薦され、社員総会の議決をもって承認された者」を名誉会員とすることが規定されている。また、名誉会員の選出については、当法人名誉会員規程第2条において、(1)会長・副会長を務めた正会員、(2)役員の職を通算8年以上務めた正会員、(3)その他上記の要件に準ずる活動として、学会の社会的評価を高める功績及び学会運営の発展に特段の功績をあげた正会員、と定めている。

以上に基づき、2024年度第1回理事会において、理事より名誉会員の提議があった。その提議について同理事会で審議を行い、満場一致で承認した。

よって、当法人名誉会員規程第3条第2号、及び第3号の定めにより、名誉会員の推薦を行うものである。

《提議の内容》

当法人名誉会員規程第3条第2号、及び第3号の定めにより、次の正会員を名誉会員として推薦する。

会員番号	氏名 (敬称略)	所属・職名	当法人名誉会員 規程第2条に 定める推薦の理由	役員の通算年数 (参考)
110001	石川 到覚	大正大学 名誉教授	第1号 (会員・副会長を 務めた正会員)	12年(6期)
110002	荒田 寛	龍谷大学 名誉教授	第1号 (会員・副会長を 務めた正会員)	12年(6期)
110004	白石 弘巳	東洋大学 名誉教授 なでしこメンタル クリニック 院長	第1号 (会員・副会長を 務めた正会員)	12年(6期)

以上